

かけはし

〈理念〉

兵庫医科大学ささやま医療センターは、安全で質の高い医療を通じて、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

〈基本方針〉

- 患者の立場に立ったチーム医療の実践
- 人間性豊かで、優れた医療人の育成
- 科学的な根拠に基づく医療の実践
- 健康増進活動による地域の保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

〈患者さんの権利〉

- 良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 病気や治療について、わかりやすく十分な説明を受けることができます。
- 診療内容をご自身で選択することができます。
- 診療内容について、他の医師の意見を聞くことができます。
- ご自身の診療情報を入手することができます。
- いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- プライバシーは常に保護・尊重されます。
- 患者さんの権利に関する「リスボン宣言」を尊重し、患者さん本位の医療を実現することができます。

◆新年のご挨拶◆



病院長 福田 能啓

あけましておめでとうございます。

平成26年、西暦で2014年に当たる今年は、「午年」です。干支（えと）で申しますと、「甲午（きのえうま）」になります。「甲午（きのえうま）」の「午（うま）」は上下に動く「杵（きね）」を描いた象形文字で、上下に行き交う、交差するという意であり、多方面との「交流」を深めてゆく年だと考えています。また、うま（馬）は草食動物なので草ばかり食べて暮らしています。そして、立ったまま寝るそうです。「草ばかり食べていても足腰の筋肉は丈夫になる」という証拠でしょう。ご高齢になると筋肉がやせて衰えてくることがあります。とくに下肢の筋肉が衰えてきますと転びやすくなり、転べば骨折しやすくなります。加齢とともに進行する筋肉の委縮を「サルコペニア」といいます。「サルコペニア」は和食を中心とした食事療法と「リハビリ」で予防したり治療したりすることができます。午年の今年は、「野菜を摂って運動する」年にしていただきたいものです。「馬が合う」「生き馬の目を抜く」「馬の耳に念仏」「馬には乗ってみよ人には添うてみよ」など、「馬」に関する表現は少なくありません。辛いことの次には楽しいことがやってくるもので、「人間万事塞翁が馬」とも申します。一喜一憂することなく前進し、「馬肥ゆる」ような元気はつらつとした健康な1年としたいものです。

また、順位を表すときに昔は、1番：甲、2番：乙、3番：丙、4番：丁・・・といったように、「甲（きのえ）」には「1番、最初」の意味があります。昨年末には、公益財団法人 日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定証を頂戴することができましたので、今年は健康増進活動による地域の保健・福祉に役立つNo.1（甲）の病院を目指して参ります。どうか地域の皆様にはご支援の程、よろしく願いいたします。

◆マンモグラフィー（乳房撮影エックス線装置）更新に伴う診療制限について（お願い）◆

現在当センターは、篠山市民の皆様の健康増進の一環として、篠山市より乳がん検診事業を受託しており、精度向上のため、マンモグラフィー（乳房撮影エックス線装置）による検診を実施しているところですが、このたび老朽化に伴い同装置の更新を行うことになりました。

つきましては、1月27日（月）から2月7日（金）の間については、乳がん検診を実施することができませんので、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。



◆病院機能評価の認定◆



ささやま医療センターは、平成 25 年 9 月 10 日～11 日に公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受け、平成 25 年 12 月 6 日付で“認定”の評価を頂戴いたしました。これを機に、なお一層地域の医療ニーズに応えられるよう、職員一丸となってより良い病院作りを目指していきたく思います。



◆JR 福知山線「篠山口駅構内における列車事故お客様救済合同訓練」への参加◆

平成 25 年 12 月 5 日、JR 西日本（西日本旅客鉄道株式会社）主催による JR 福知山線「篠山口駅構内における列車事故お客様救済合同訓練」が実施されました。ささやま医療センターから医師・看護師 3 名が参加した他、篠山市役所、篠山警察署、鉄道警察隊、篠山市消防本部など約 90 名が参加しました。JR 福知山線の古市・南矢代間「南矢代踏切」において立往生していた大型トラックに快速電車が衝突し、多数の負傷者が車内に閉じ込められたという想定で訓練が行われました。

現場でのトリアージは、当センター救急科診療部長の吉永が担当し、実践を想定した緊張感が参加者や見学者にも伝わりました。訓練終了後の同部長の講評では、「訓練は実施するだけではなく、その後の検証がとても大切である」ということが強調されました。今後も地域の災害訓練に積極的に参加する予定です。



◆クリスマスコンサート◆

病院ボランティアであるささやま医療センター支援グループ「ささゆり」による年末恒例の「クリスマスコンサート」が、12 月 20 日午後 4 時から玄関ホールで開催されました。

玄関ホールコンサートとしては今年度 3 回目の開催で、今回もささゆり副代表が司会進行を務めました。

今回の内容は、篠山市内在住の小学校及び中学校の生徒さんや成人の方による見事なピアノ演奏、市内のよさこいソーラングループ「篠恋」による華麗な舞、同じく市内中学生の生徒さんで結成された 6 人組ダンスユニット（gacha×gacha がチャガチャ）によるかっこいいダンス、さらに、ささやま医療センター職員によるエレクトーンとピアノの協演もあり、クリスマスに相応しい終始楽しいコンサートとなりました。ささやま医療センターでは、これからも玄関ホールコンサートを開催していく予定です。

